

水稻生育診断速報

2025
No.1

令和 7(2025)年 5 月 30 日
農政部経営技術課技術指導班

☆☆☆ 生育概況（5 月 26 日調査） ☆☆☆

<早植コシヒカリ>

草丈：全ほ場で前年より長い（117%）

茎数：那須烏山市、芳賀町で少ないが、県内平均は前年より多い（117%）

葉色：前年に比べやや濃い傾向

<早植とちぎの星>

草丈：全ほ場で前年より長い（127%）

茎数：全ほ場で前年より多い（123%）

葉色：葉色板による葉色農研センターで前年並みだが、県内平均は 0.5 濃い

○気象概況

4 月の天気は、日本付近を低気圧と高気圧が交互に通過したため数日の周期で変化しましたが、期間の前半は曇りや雨の日が多く、期間の後半は晴れの日が多くなりました。上旬のはじめと中旬の中頃、下旬のはじめと終わりは、低気圧の影響で広い範囲で雨となりました。また、11 日は寒気の影響により激しい雨の降った所がありました。

5 月上旬は、日本付近を高気圧と低気圧や前線が交互に通過したため周期的に変わりました。2 日は低気圧が本州の南岸を通過した影響により激しい雨の降った所があり、4 日は上空の寒気の影響により雷雨となった所がありました。

5 月中旬は日本付近を高気圧と低気圧や前線が交互に通過したため、晴れた日もありましたが湿った空気の影響で雲が多く雨の降った日もありました。17 日は低気圧や前線の影響で広い範囲で雨となり、19 日は湿った空気の影響で雷雨となった所がありました。

○生育調査結果

【早植コシヒカリ】県内 10 カ所

移植後、5 月中旬の気温が平年よりかなり高く経過したため活着は良好でした。一部で高温による除草剤の葉害が見られました。草丈は、塩谷は前年並み、その他の圃場では前年より長くなりました（全ほ場平均 117%）。植付本数は前年より少なく、茎数は那須烏山市（前年比 88%、今年度ほ場変更）、芳賀町（前年比 96%）と少なくなりました。その他の圃場では高温の影響から分けつが進み前年より多くなりました（116～147%、全ほ場平均 117%）。葉色（SPAD）は那須烏山市、小山市、農研センターで前年よりやや淡くなりましたが、全体的にはやや濃い傾向（前年差+3.7）となりました。葉色板はバラツキが大きいものの、全体でやや濃い傾向（前年差+0.2）となりました。

【早植とちぎの星】県内 4 カ所

とちぎの星の活着も良好で、草丈は全ての地点で前年より長くなりました（前年比 127%）。茎数はさくら市で前年並みになったものの、全体的には前年より多くなりました（前年比 121%）。葉色（SOPD）は農研センターでは淡く、その他の地点は濃くなりました。また、葉色板では前年並み～濃くなりました。

【農業総合研究センター調査】分けつ発生率、乾物重（全量基肥栽培について）

コシヒカリ、とちぎの星ともに主茎第 1 節の分けつは確認されませんでした。第 2 節の発生はコシヒカリで平年より少なく、とちぎの星は多くなりました。第 3 節の発生はコシヒカリ、とちぎの

星ともに多く（それぞれ平年比 259%、231%）、高温の影響で分けつが急速に進んでいます。

今後、生育初期の生育を制御することが重要となります。

移植後の平均地温が平年より高く推移していることから葉面積は広く、乾物重は重くなっています。

エルニーニョ、ラニーニャの発生状況について

気象庁 エルニーニョ監視速報(R7.5.12)

- ・エルニーニョ現象もラニーニャ現象も発生していない平常の状態となっている。
- ・今後、秋にかけて平常の状態が続く可能性が高い（60%）。

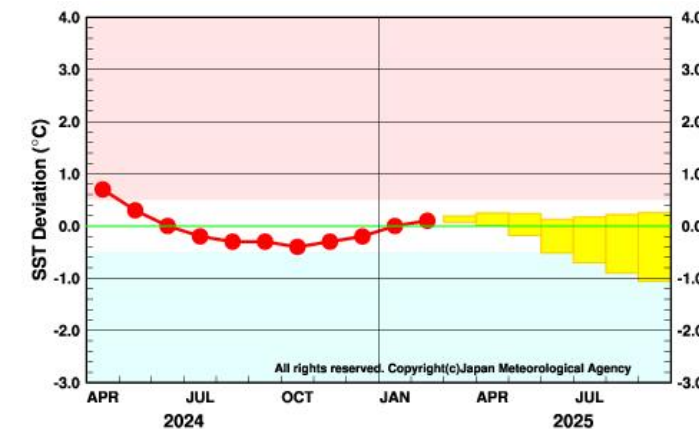


図1 エルニーニョ監視海域の監視指数（海面水温の基準値との差の5か月移動平均値）の経過と予測

気象庁 関東甲信地方 1 か月予報（5 月 22 日発表）

天 候：期間の前半は、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

降水量：平年並または多い確率ともに 40% です。

気 温：1 週目は、低い確率 60% です。2 週目は、高い確率 50% です。3～4 週目は、高い確率 50% です。

気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）			
気温	関東甲信 地方	向こう 1 か月 05/24～06/23	20 40 40
		1 週目 05/24～05/30	60 30 10
		2 週目 05/31～06/06	20 30 50
		3～4 週目 06/07～06/20	20 30 50
降水 量	関東甲信 地方	向こう 1 か月 05/24～06/23	20 40 40
日照 時間	関東甲信 地方	向こう 1 か月 05/24～06/23	40 40 20

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

□■□ 今後の技術対策 □■□

(1) 必要茎数が確保されたら「**間断かん水**」開始

今年は、気温が高く経過しているため、早めに植えた所や、地力の高いところ、植付本数が多いところなどは、急激に茎数が増えています。また、今年の夏も暑くなることが予想されています。穂数が多くなると籾数が増えやすく、籾数過剰で品質が低下しやすくなります。昨年的高温も、栃木県は籾数が過剰にならなかったことで、品質低下を回避できたという分析もあります。

急激に茎数が増加しているほ場・・・目標茎数の8割で間断かん水開始

(県北：300 本/㎡、県中南：350 本/㎡)

通常の生育をしているほ場・・・目標茎数の9割で間断かん水開始

(県北：350 本/㎡、県中南：400 本/㎡)

(2) イネカメムシ対策

昨年から県南地域を中心に発生が確認されました。

イネカメムシは、出穂期に穂を吸汁することで不稔が発生し減収につながります。また、乳熟期の吸汁は斑点米の発生につながります。

出穂期防除が必須であり、通常の斑点米カメムシ類と防除体系が異なります。

適期防除に努めましょう。



図2 イネカメムシの発生地域における斑点米カメムシ類の総合防除体系

(3) 斑点米カメムシ対策

昨年の夏は記録的な高温で経過したため、カメムシの数が増加しました。また暖冬傾向で推移したため、カメムシの越冬数も多くなることが予想されます。

近年、飼料米などの作付により米の収穫期間が長く、カメムシの越冬前の栄養状態も良くなるなど、被害が多くなる環境が整っています。



水田内の除草・・・水稻出穂前に結実するノビエの穂やイヌホタルイの小穂は斑点米カメムシの誘因源・発生源となりますので、結実前に除草しましょう

周辺ほ場の除草・・・周辺の水張り水田などにイネ科の雑草やイヌホタルイが生育していると、斑点米カメムシの誘因源となるので、耕起や代かきなどを行い除草しましょう。



(4) その他の病害虫対策

《イネ縞葉枯病》

5月16日に農業総合研究センター防除課より発表された縞葉枯病の発生予報では、本年の発生は「平年並」と予報されている。昨年9～10月の再生稲調査での本病の発生は平年並（ほ場率：68%、株率：4%）。

昨年11月のウンカ類の越冬前幼虫の発生量はやや少ない状況ですが、一部保毒虫率が高い地域（直近3年間では、県北部および県中部は増加傾向にある一方で県南部はほぼ横ばい）では、ヒメトビウカ類の防除を実施しましょう。

《イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ》

イネミズゾウムシの発生が目立つほ場（移植後2週間の水田における成虫密度が株当たり0.5頭以上が要防除水準）では、有効な薬剤により防除を行いましょう。多雨で湿度の高い日が続くとイネドロオイムシの幼虫発生期間が長引き、多発生になりやすいことから、今後の天候と発生状況に十分注意しましょう。

《いもち病（葉いもち）》

作物体の濡れが持続することで、いもち病や紋枯苗の病原菌（カビ）の萌芽や伝播が行われて被害が拡大します。強い降雨では菌が流れてしまうのに対し、継続的な弱い降雨は感染拡大につながります。本年も断続的であるが降雨がみられるところから、感染拡大が避けるため、これまで育苗箱処理剤等を散布していない場合は、予防のため地上からの散布に努めましょう。さらに予防散布に加え、発生時には速やかな薬剤散布を行いましょう。置き苗は、いもち病の発生源となるため、早めに処分しましょう。

【参考データ】

I コシカリ

〔耕種概要〕

No.	設置場所	施肥区分	播種期		移植期		栽植密度		植付本数	植付株数
			月	日	月	日	畦間(cm)	株間(cm)	(本/株)	(株/坪)
1	那須町寺子内	全量基肥	4	12	5	10	29.9	17.7	4.5	62.4
2	那須塩原市一区町	全量基肥	4	2	5	2	31.2	18.1	5.6	58.4
3	塩谷町玉生	全量基肥	4	8	5	3	30.4	18.0	2.7	60.3
4	那須烏山市南大和久	全量基肥	4	10	5	4	30.1	18.1	3.9	60.6
5	日光市木和田島	全量基肥	4	6	5	4	30.2	17.5	4.4	62.4
6	鹿沼市久野	全量基肥	4	5	5	1	30.3	20.6	3.5	52.9
7	宇都宮市川田町	全量基肥	4	3	5	3	30.0	17.5	4.7	62.9
8	芳賀町東水沼	全量基肥	4	1	5	4	30.5	18.0	3.9	60.1
9	小山市鏡	全量基肥	4	6	5	3	28.3	17.8	4.7	65.5
10	農業総合研究センター	全量基肥	4	11	5	7	30.0	15.0	4.0	73.3
	平均	平均	4月6日	5月4日			30.1	17.8	4.2	61.9

〔苗調査結果〕

No.	苗草丈(cm)			乾物重 (g/100本)			苗葉齢		
	本年	前年	前年比(%)	本年	前年	前年比(%)	本年	前年	前年差
1	14.0	17.4	81	2.00	2.20	91	2.7	2.7	0.0
2	10.2	22.7	45	1.30	2.10	62	2.9	3.4	-0.5
3	17.6	26.2	67	1.90	2.61	73	2.6	3.0	-0.4
4	13.3	15.2	88	1.60	2.01	80	2.7	3.1	-0.4
5	12.9	13.5	96	1.48	2.15	69	2.4	3.1	-0.7
6	14.0	14.1	99	1.41	2.45	58	2.5	2.8	-0.3
7	12.5	15.5	81	1.34	1.60	84	2.9	2.8	0.1
8	17.9	21.4	84	1.48	1.54	96	2.9	3.0	-0.1
9	16.7	14.3	117	1.69	1.59	106	3.3	3.1	0.2
10	12.3	15.1	81	1.62	1.38	117	2.5	2.7	-0.2
平均	14.1	17.5	81	1.58	1.96	81	2.7	3.0	-0.2

〔コシカリ本田における生育調査結果〕

No.	設置場所	草 丈 (cm)			1株本数			茎 数 (本/m ²)			葉 齢			葉色(葉緑素計)			葉 色(葉色板)			葉色×茎数		
		本 年	前 年	比(%)	本 年	前 年	比(%)		前 年	比(%)	本 年	前 年	差	本 年	前 年	差	本 年	前 年	差	本 年	前 年	比(%)
1	那須町寺子内	29.9	23.9	125%	5.1	4.8	107%	96	85	113%	5.1	4.7	0.4	22.3	21.8	0.5	3.0	3.2	-0.2	284	267	107%
2	那須塩原市一区町	32.5	28.2	115%	12.6	13.1	96%	223	211	106%	5.7	6.6	-0.9	33.1	32.4	0.7	3.5	4.0	-0.5	787	842	93%
3	塩谷町玉生	27.8	27.7	100%	6.0	5.3	113%	109	94	116%	5.1	4.9	0.2	35.7	30.3	5.4	4.1	3.3	0.8	447	292	153%
4	那須烏山市南大和久	30.1	26.6	113%	9.0	9.9	91%	164	186	88%	6.2	6.6	-0.4	34.4	35.3	-0.9	4.1	3.7	0.4	670	687	98%
5	日光市木和田島	30.1	29.0	104%	8.0	6.2	129%	151	129	117%	6.0	5.5	0.5	32.5	26.0	6.5	3.6	3.8	-0.2	544	490	111%
6	鹿沼市久野	36.2	26.1	139%	8.0	5.5	145%	128	87	147%	6.8	5.3	1.5	35.2	23.1	12.1	3.9	2.5	1.4	500	218	229%
7	宇都宮市川田町	28.8	23.2	124%	9.2	6.7	137%	175	125	140%	6.4	5.1	1.3	38.2	27.4	10.8	3.7	3.5	0.2	642	444	145%
8	芳賀町東水沼	26.2	20.6	127%	4.7	4.7	100%	85	88	96%	5.3	5.2	0.1	28.2	20.3	7.9	3.6	3.2	0.4	302	282	107%
9	小山市鏡	32.9	28.1	117%	16.3	13.6	120%	324	259	125%	6.1	6.0	0.1	40.1	41.3	-1.2	4.0	4.1	-0.1	1306	1052	124%
10	農業総合研究センター	30.6	27.7	110%	8.2	6.3	130%	181	141	129%	4.5	5.4	-0.9	28.3	32.8	-4.5	3.1	3.3	-0.2	561	465	121%
平均	全量基肥平均	30.5	26.1	117%	8.7	7.6	115%	164	140	117%	5.7	5.5	0.2	32.8	29.1	3.7	3.7	3.5	0.2	604	504	120%
分施	農業総合研究センター	30.5	27.8	110%	9.1	7.5	121%	201	166	121%	5.6	5.3	0.3	30.8	32.7	-1.9	3.2	3.3	-0.1	640	551	116%

※葉色は葉色板の数値

II とちぎの星

〔耕種概要〕

No.	設置場所	栽培区分	播種期		移植期		栽植密度		植付本数	植付株数
			月	日	月	日	畦間(cm)	株間(cm)	(本/株)	(株/坪)
11	さくら市狹間田	早植栽培	4	8	5	14	33.7	19.2	2.8	51.0
12	宇都宮市下桑島町	早植栽培	4	7	5	9	29.8	17.7	3.2	62.6
13	真岡市清水	早植栽培	4	10	5	8	29.9	17.9	4.2	61.7
14	農業総合研究センター	全量基肥早期	4	11	5	7	30.0	15.0	4.0	73.3
	平均		4月9日	5月9日			30.9	17.5	3.5	62.1

〔苗調査結果〕

No.	苗草丈(cm)			乾物重 (g/100本)			苗葉齢		
	本年	前年	前年比(%)	本年	前年	前年比(%)	本年	前年	前年差
11	13.2	17.8	74	2.30	2.58	89	3.7	3.2	0.5
12	14.9	17.3	86	1.91	2.09	91	3.1	3.7	-0.6
13	11.3	16.7	68	1.83	1.78	103	2.8	3.0	-0.2
14	11.5	13.0	88	1.77	1.84	96	2.6	2.7	-0.1
平均	12.7	16.2	79	1.95	2.07	94	3.1	3.2	-0.1

〔とちぎの星本田における生育調査結果〕

No.	設置場所	草 丈 (cm)			1株本数			茎 数 (本/m)			葉 齢			葉色(葉緑素計)			葉 色(葉色板)			葉色×茎数		
		本 年	前年	比(%)	本 年	前 年	比(%)	本 年	前 年	比(%)	本 年	前年	差	本 年	前 年	差	本 年	前年	差	本 年	前 年	比(%)
11	さくら市狭間田	26.8	21.4	125%	4.3	3.8	113%	66	65	101%	5.2	4.8	0.4	30.1	28.9	1.2	3.5	3.1	0.4	231	205	113%
12	宇都宮市下桑島町	29.9	23.2	129%	5.8	3.5	166%	110	66	166%	6.2	5.6	0.6	34.6	24.5	10.1	3.7	3.4	0.3	406	227	179%
13	真岡市清水	24.9	16.1	155%	5.5	5.3	104%	103	100	103%	5.3	4.3	1.0	35.1	23.5	11.6	4.0	3.0	1.0	409	300	136%
14	農業総合研究センター	26.7	24.4	109%	9.3	7.6	122%	206	170	121%	5.1	5.3	-0.2	30.6	32.3	-1.7	3.3	3.2	0.1	678	538	126%
平均	早植平均	27.1	21.3	127%	6.2	5.1	123%	121	100	121%	5.5	5.0	0.4	32.6	27.3	5.3	3.6	3.2	0.5	431	318	136%

農業総合研究センター分げつ発生率、乾物重調査

5月26日調査

表 R7移植後19日（5月26日）の生育調査

処理	主茎第1節分げつ（％）			主茎第2節分げつ（％）			主茎第3節分げつ（％）		
	本年	平年	比（％）	本年	平年	比（％）	本年	平年	比（％）
コシヒカリ・0.0	0.0	0.0	0	0.0	10.2	0	2.5	10.0	25
コシヒカリ・0.3	0.0	0.3	0	48.9	45.5	107	100.0	32.1	312
コシヒカリ・0.5（全基）	0.0	0.4	0	22.9	29.6	77	90.5	34.9	259
とちぎの星・0.6（全基）	0.0	6.9	0	70.0	51.3	136	100.0	43.2	231
とちぎの星・0.5	0.0	4.6	0	73.5	53.3	138	85.4	48.0	178

表（続き）

処理	葉面積（㎡/㎡）			乾物重（g/㎡）		
	本年	平年	比（％）	本年	平年	比（％）
コシヒカリ・0.0	0.09	0.08	119	6.7	6.6	102
コシヒカリ・0.3	0.17	0.11	149	12.8	10.7	120
コシヒカリ・0.5（全基）	0.17	0.10	170	11.7	8.7	135
とちぎの星・0.6（全基）	0.17	0.16	107	12.3	10.7	115
とちぎの星・0.5	0.20	0.14	142	13.7	10.2	134

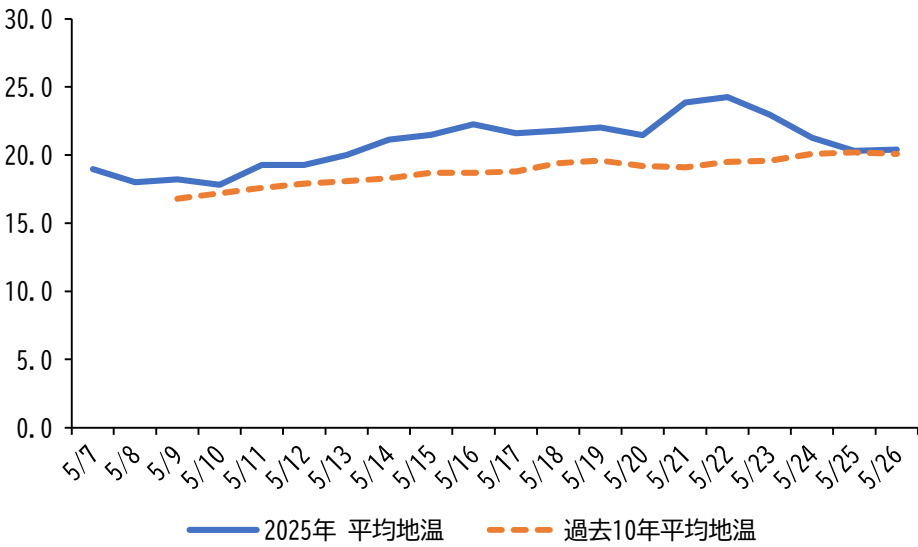


図 農研センターにおける平均地温の推移